

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	39
実施計画事業名	農業の担い手の確保		担当部署名	農政課
事業の実施目的及び概要	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐため、関係団体と連携を図り、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を進めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	担い手の確保			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>
事業費	12,030千円	12,030千円	12,030千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	新規就農促進事業
	5-1-3	農業振興費	農地中間管理事業に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への資金交付 2経営体(うち夫婦型0経営体)</li> <li>経営発展支援事業補助金 2経営体</li> <li>農業版ハローワーク事業研修2回</li> <li>新規求人登録者 0名</li> <li>新規求職登録者 4名</li> <li>農地中間管理事業(農地中間管理機構による貸借) 借受面積 4.4ha 転貸面積 4.4ha</li> </ul>	当初予算	12,030,000円
		予算現額	10,773,000円
		決算額	10,219,500円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	農業次世代人材投資資金事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	—	—	—	
	新規就農者育成総合対策の周知	回	目標値	—	—	1	1	1	
			実績値	—	—	1	—	—	
	農業版ハローワーク事業に係る研修会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	2	2	2	—	—	
農地中間管理事業の周知	回	目標値	1	1	5	5	5		
		実績値	5	5	4	—	—		
成果指標	農業次世代人材投資資金交付者数	延べ経営体数	目標値	11	12	13	14	15	
			実績値	11	11	—	—	—	
	新規就農者への資金交付数	延べ経営体数	目標値	—	—	13	14	15	
			実績値	—	—	12	—	—	
	農業版ハローワーク事業の求職登録者数	人数	目標値	40	42	52	54	56	
			実績値	50	59	60	—	—	
	農地中間管理事業のマッチング面積	延べ面積(ha)	目標値	70	71	82	83	84	
			実績値	81	84	88	—	—	
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐには、新規就農者対策や農地の集積・集約化対策が必要であり、各種事業を実施していくことで、その対策に取り組んでいく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	40
実施計画事業名	農業経営への支援	担当部署名	農政課	
事業の実施目的及び概要	農業経営の安定化を図るため、認定農業者や新規就農者等の担い手に対する栽培施設整備等への支援を行います。 また、農作物被害の防止対策、主食用米の需給バランスを図るための新規需要米等への作付け、家畜の疾病問題等の経営環境面の改善や畜産物の品質向上への支援を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業経営への支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> <li>営農継続特別給付金事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> </ul>
事業費	288,378千円	167,547千円	167,547千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	園芸振興事務に要する経費
	5-1-3	農業振興費	植物防疫事業
	5-1-3	農業振興費	多目的水田農業推進事業
	5-1-3	農業振興費	農業経営基盤強化促進事業
	5-1-3	農業振興費	営農継続特別給付金事業
	5-1-4	畜産業費	家畜防疫事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・認定農業者・認定新規就農者連絡会議の開催 1回 ・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書作成会の開催13回 ・農業用廃プラスチック対策推進事業 処理量7.31t ・園芸産地生産力強化支援事業 2経営体 ・気象災害に強い果樹産地支援事業補助金 4経営体 ・担い手水田利活用高度化対策事業 3経営体 30.17ha ・農業制度資金利子補給 1件 ・飼料用米等生産支援事業 249件 ・植物防疫事業 1,324.7ha ・家畜伝染病予防事業 予防接種77頭(牛47・豚30)、防疫資材配布 ・営農継続特別給付金交付 465経営体	当初予算	288,378,000円
		予算現額	237,834,000円
		決算額	231,478,416円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	飼料用米取組への周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	飼料用米取組面積	ha	目標値	65	71	71	71	71
			実績値	534	646	—	—	—
	飼料用米取組目標面積達成率	%	目標値	—	—	90	90	90
			実績値	—	—	133		
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業者の農業経営の安定化等を図るため、引き続き各種事業を実施することにより栽培施設の整備や経営環境面の改善、畜産物の品質向上への支援を行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	41
1. 事業の概要				
実施計画事業名	農業生産基盤の整備		担当部署名	農政課
事業の実施目的及び概要	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、土地改良施設の改修や農地の面整備等を行う土地改良事業実施主体への支援等により、農業生産基盤の整備に努めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業生産基盤の整備			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)				単位:千円
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業</li> <li>・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)</li> </ul>	
事業費	105,978千円	136,980千円	147,234千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	5-1-5	農地費	農地事務に要する経費
	5-1-5	農地費	土地基盤整備事業

3. 事業実績等		単位:円	
令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)に係る国等との連絡調整</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業に係る国等との連絡調整</li> <li>・小規模土地改良事業補助 13経営体 3土地改良区</li> <li>・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)</li> </ul>	当初予算	105,978,000円
		予算現額	106,406,000円
		決算額	65,911,865円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値									
	指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	小規模土地改良事業補助金の周知	回	目標値	2	2	3	3	3	
			実績値	3	3	3			
		目標値							
		実績値							
成果指標	小規模土地改良事業実施率	%	目標値	80	80	90	90	90	
			実績値	99	99	68			
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	周知を実施したものの、目標を下回る成果となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	周知を実施したものの、目標を下回る成果となった。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、引き続き、各種事業による支援等を行い、農業生産基盤の整備に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	42
実施計画事業名	農林業を通じた地域振興	担当部署名	農政課	
事業の実施目的及び概要	市民の農業への理解と関心を高めるため、農業に親しむ機会を設けるとともに、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物づくりに関わる取組を支援します。 また、農村環境を保全するため、農地や用排水施設の管理活動や森林の保全に取り組む活動に対し支援等を行います。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	
取組方針	農林業を通じた地域振興			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>いんざいふるさと産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>いんざいふるさと産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>いんざいふるさと産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>
事業費	46,861千円	46,861千円	46,861千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	多面的機能・環境保全向上対策事業
	5-1-3	農業振興費	ふるさと産業まつりに要する経費
	5-1-3	農業振興費	ふるさと農園振興事業
	5-1-3	農業振興費	地産地消推進事業
	5-2-1	林業振興事務に要する経費	林業振興事務に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	多面的機能支払交付金 13団体 52,800a 環境保全型農業直接支援対策事業補助金 1団体 57a 草深ふるさと農園全284区画を貸出し 農業体験教室の実施 ミニトマト栽培 263人(4小学校) イモ植付体験(2保育園、2幼稚園、1小学校、1教育センター) イモ収穫体験(4保育園、2幼稚園、8小学校、1教育センター) 印西農産物地産地消推進事業補助 2経営体 産業まつり来場者数 約25,000人 林業体験教室(1小学校、1教育センター) 県単森林整備事業補助 2件、0.2ha	当初予算	46,861,000円
	予算現額	42,927,000円	
	決算額	41,612,211円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	多面的機能支払交付金事業の周知	回	目標値	1	1	3	3	3
			実績値	4	4	4		
	ふるさと農園の利用案内	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	農業体験教室の開催(ミニトマト・イモ収穫体験)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	2	2		
ちばエコ農業の啓発	回	目標値	1	1	2	2	2	
		実績値	2	2	2			
成果指標	多面的機能支払交付金事業活動団体数	団体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	12	12	13		
	ふるさと農園利用率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100		
	農業体験教室の参加人数(ミニトマト・イモ収穫体験)	人	目標値	400	700	700	700	700
			実績値	976	1,074	1,055		
	ちばエコ農産物認証件数	件	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22	17	24		
	目標値							
	実績値							

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民の農業への理解と関心や農村環境を保全していくために、引き続き、農林業の各種事業に取り組んでいく。□

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	43
実施計画事業名	商工業の活性化		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう市商工会などの関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。 さらに、地域の活性化を図るため、市にゆかりのある地元産品や特産品などを開発するために必要な支援を行います。			
関連施策	【3-2】 商工業の振興	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画	
取組方針	商工業の活性化/新たな地元産品の開発の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知
事業費	41,428千円	41,428千円	41,428千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	キャッシュレス決済ポイント還元事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・市内商工業の総合的な改善発達を図るため、商工会の運営及び事業に要する経費の一部を補助した。 ・中小企業者の振興に資するため、資金融資のあっせん和利子補給により中小企業者を支援した。 ・いんざいふるさと地元産品をHP等で周知を図り、新たな産品を追加した。 ・地域経済や市内事業者を支援するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。	当初予算	41,428,000円
		予算現額	155,713,000円
		決算額	151,426,430円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	融資についての記事を広報紙・HPに掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5	5	7		
	いんざいふるさと地元産品の広報紙・HP掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	1	8		
				目標値				
				実績値				
成果指標	中小企業資金融資利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	28	25	19		
	小規模事業者経営改善利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39	27	34		
	商工会経営指導員による相談及び指導	回	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,868	1,821	1,914		
	いんざいふるさと地元産品の新規登録数	件	目標値	—	—	1	1	2
			実績値	—	—	2		
				目標値				
				実績値				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、関係機関と連携し、商工業の改善発達及び中小企業の経営の安定化、事業継続を図っていく。また、市にゆかりのある地元産品を積極的にPRし、商工業の活性化を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	44
1. 事業の概要				
実施計画事業名	創業・起業の支援と企業誘致		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	県や商工会、大学などの関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して創業セミナーや相談事業などを行い、市内への創業・起業を促進します。また、成田国際空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性を積極的にPRし、誘致活動を推進します。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	創業支援等事業計画	
取組方針	企業誘致の実施/創業・起業の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催</li> <li>・創業支援資金利子補給</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催</li> <li>・創業支援資金利子補給</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催</li> <li>・創業支援資金利子補給</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> </ul>
事業費	91,977千円	91,977千円	91,977千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	企業誘致推進事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・創業、起業希望者に対して創業セミナーや相談事業を実施し、市内の創業、起業を支援した。(いんざい創業塾・創業支援セミナー)	当初予算	91,977,000円
	・市内において創業しようとする者を支援するため、株式会社日本政策金融公庫から新創業融資制度による資金の融資を受けた市内の事業者に対し、利子補給を実施した。	予算現額	91,977,000円
	・印西市の産業動向に係る、現状と今後の方向性を把握・整理するとともに、企業からみた印西市に進出する魅力や企業立地に関する考え方を把握し、今後の企業立地の方向性を検討することを目的に産業動向基礎調査を実施した。	決算額	87,322,563円
	・県外大手民間事業者及び報道機関に対し、市の地理的優位性等のPRを行った。	翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	5	9		
	地理的優位性をPR	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	0	5	7		
	優良企業への誘致活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	6		
			目標値					
			実績値					
成果指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの参加人数	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	6	17	24		
	創業支援資金利子補給	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3	3	2		
	創業についての相談及び指導	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	31	110	133		
	新規企業数(経済振興課調べ)	社	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	152	139	139		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	・セミナー参加者の増加を図るための更なる周知を図っていく。 ・利子補給対象期間満了に伴い、件数が減少したため
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	・セミナー参加者の増加を図るための更なる周知を図っていく。 ・利子補給対象期間満了に伴い、件数が減少したため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、新たな創業支援策を検討しつつ、創業支援事業計画に基づく創業支援策(創業セミナー・創業ワンストップ相談窓口の設置等)を実施し地域に密着した創業者を増やし、地域経済の活性化を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	45
実施計画事業名	就労支援の充実	担当部署名	経済振興課	
事業の実施目的及び概要	ハローワーク成田などの関係機関との連携を図るとともに、本市の就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」などの就労に関する情報提供の充実を図ります。また、若者、女性、高齢者、障がいのある人等、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、市民及び企業に意識啓発を図ります。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画 創業支援等事業計画	
取組方針	就労支援の充実/働きやすい環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>
事業費	13,712千円	13,712千円	13,712千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」を活用した求人情報の発信やハローワークと連携した求人情報(月2回更新)を公共施設の窓口で提供した。	当初予算	13,712,000円
	・若年(15歳~44歳まで)者を対象とした求職者就職活動相談会を開催を企画した。(ジョブカフェちばカウンセラー派遣事業・千葉県と市の共催)	予算現額	13,712,000円
	・女性や中高年齢者の再就職の促進及び就職後の職場定着を図るため、再就職セミナーを開催した。(ジョブサポートセンター事業・千葉県と近隣市共同共催)	決算額	11,003,000円
	・働くことに悩みを抱えている若者を対象に就労に向けた支援を実施。(地域若者サポートステーション・厚生労働省と市の共催・月2回開催)	翌年度繰越額	—
	・ワークライフバランスの推進を図るため、セミナーを開催した。		

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労支援セミナー開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3		
	就労支援に関する情報提供	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	48	48	48		
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー開催回数	回	目標値	—	1	1	1	1
			実績値	—	0	1		
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労支援セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	35	53	98		
	新規就労支援サイト登録事業所数	事業所	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46	26	44		
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー参加者数	人	目標値	—	20	20	20	20
			実績値	—	0	2		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	セミナー参加者の周知に努める。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、就労支援に関する情報の提供や就労支援セミナーの充実を図るとともに、ワークライフバランスや働き方改革についても、市民や企業等に対し意識啓発を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	46
1. 事業の概要				
実施計画事業名	シティプロモーションの推進		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤などの「まちの魅力」を磨き上げるとともに、新たな魅力を創出することにより、選び続けてもらうためのまちづくりを行います。また、効果的かつ積極的に市内外にプロモーションしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていきます。			
関連施策	【3-4】定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市シティプロモーションプラン	
取組方針	シティプロモーションの推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>・ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>・プロモーションイベントの実施</li> <li>・市内外イベントでのプロモーションの実施</li> <li>・市のマスコットキャラクターによるPR</li> <li>・シティプロモーション効果検証に係るWEB調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>・PR動画制作業務</li> <li>・ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>・プロモーションイベントの実施</li> <li>・市内外のイベントでのプロモーションの実施</li> <li>・市のマスコットキャラクターによるPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>・PR動画制作業務</li> <li>・ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>・プロモーションイベントの実施</li> <li>・市内外のイベントでのプロモーションの実施</li> <li>・市のマスコットキャラクターによるPR</li> </ul>
事業費	95,252千円	111,975千円	111,975千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-6	企画費	シティプロモーションに要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	シティプロモーションプランに基づき、以下のような各種プロモーション事業を実施した。 市内外へのプロモーションとして、イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施や、各種イベントでの市のPR、いんざい君グッズの販売等を行った。 また、順天堂大学とプロモーションに関する連携の一環として、広告に関する契約を締結し、同大学陸上競技部男子駅伝チーム、体操競技部男子チーム女子チームのユニフォーム等に印西市のロゴを表示し、市のPR、知名度向上を図った。 ふるさと納税では、新規ポータルサイトでのPRを行うことで、寄付件数、寄付額を増やすことができた(2,088件→2,261件、44,727,000円→68,066,080円)。 シティプロモーションの効果検証として、市の認知度や魅力などについてのWEB調査を実施した。	当初予算	95,252,000円
		予算現額	95,252,000円
		決算額	83,797,171円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	マスコミへの情報提供	件	目標値	60	63	66	69	72
			実績値	53	76	85		
	ふるさと納税返礼品目数	件	目標値	30	32	43	45	47
			実績値	45	52	63		
	プロモーション事業数	件	目標値	10	12	14	16	18
			実績値	11	13	15		
			目標値					
			実績値					
成果指標	ふるさと納税件数	件	目標値	744	772	805	844	890
			実績値	700	2,088	2,261		
	シティプロモーション専用ホームページアクセス数	件	目標値	160,000	170,000	90,000	—	—
			実績値	181,551	74,106	71,492		
	シティプロモーションに関する市ホームページアクセス数	件	目標値	—	—	90,000	190,000	200,000
			実績値	—	—	69,957		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シティプロモーション専用ホームページについては、契約終了に伴い令和3年度以降は新規コンテンツがないため、目標を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	シティプロモーションプランに沿い、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」を目指し、引き続き効果的なプロモーション活動を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	47
1. 事業の概要				
実施計画事業名	国際化の推進		担当部署名	企画政策課
事業の実施目的及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いの文化や価値観を受け入れ、理解しあいながら、ともにいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、日本人の多文化共生意識の醸成や外国人が安心して暮らせる取組等を推進します。			
関連施策	【3-4】定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市国際化推進方針	
取組方針	国際化の推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> <li>外国人市民意識調査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> <li>国際化推進方針の改訂</li> </ul>
事業費	2,341千円	4,501千円	2,341千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-6	企画費	国際化推進事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会を2回開催した。</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解講座を開催した。</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援をした。</li> <li>外国人市民相談(予約制)を3回実施した。</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供として、NEWSLETTERを発行するとともに広報にて「外国人のみなさんへ」を掲載するほか、市HPにて情報提供をした。</li> <li>日本語教室の活動支援をした。</li> </ul>	当初予算	2,341,000円
		予算現額	2,341,000円
		決算額	2,247,618円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	国際化推進懇談会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2		
	異文化理解講座の開催	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	6	10		
	職員研修の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
外国人相談の開催周知	回	目標値	12	12	12	12	12	
		実績値	12	12	12			
NEWSLETTER及び「外国人のみなさんへ」の発行	回	目標値	24	24	24	24	24	
		実績値	24	24	24			
成果指標	異文化理解講座の参加者数	延べ人数	目標値	170	170	170	170	170
			実績値	371	218	289		
	職員研修の参加者数	延べ人数	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	28	26	25		
	国際理解・交流事業の参加者数	延べ人数(語学講座は実数)	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	288	250	302		
	NEWSLETTERの配布・閲覧件数	件	目標値	2,400	2,410	2,420	2,430	2,440
			実績値	2,955	3,087	3,121		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	異文化理解講座や国際理解・交流事業等の参加者数の増加により、多文化意識の醸成が図れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	異文化理解講座や国際理解・交流事業等の参加者数の増加により、多文化意識の醸成が図れた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	外国人人口の増加や国籍の多様化が続く中、今後も引き続き多文化共生のまちづくりに向けた取り組みを実施する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	48
実施計画事業名	観光資源の活用による地域の活性化		担当部署名	経済振興課、企画政策課、都市整備課
事業の実施目的及び概要	点在する文化財や市を囲む水資源、商業施設を再評価するとともに、地域に眠る観光資源の発掘や新たな魅力を発見します。また、それぞれを結ぶ観光モデルコースやガイドマップなどの充実を図り、市内の周遊や商業施設の誘客を図り、活性化につなげていきます。			
関連施策	【3-5】観光資源の活用と観光の振興	根拠法令 関連計画	木下駅南口公共用地活用検討方針	
取組方針	観光資源の活用による地域の活性化 /観光資源の創出/観光資源の周知			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>(仮称)にぎわい広場整備工事</li> <li>木下駅南口公共用地の活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>木下駅南口公共用地整備基本計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>木下駅南口公共用地整備基本計画の策定</li> </ul>
事業費	74,091千円	41,000千円	41,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-6	企画費	企画事務に要する経費
	2-1-7	まちづくり推進事業費	地域活性化の推進に要する経費
	6-1-2	商工振興費	観光振興対策事業
	7-3-3	公園費	(仮称)にぎわい広場整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・桜の開花状況等についてホームページ等で周知を図るとともに、花見対策として警備員の配置や仮設駐車場、仮設トイレの設置・管理、ごみ処理等を行った。	当初予算	74,091,000円
	・大六天については令和4年度に整備した駐車場を含め、例年同様、草刈、清掃を行った。	予算現額	190,297,000円
	・きおろし水辺の広場については例年同様、管理、草刈、植栽剪定を行った。	決算額	149,545,167円
	・舟運事業、軽トラ市、フォトコンテスト事業等に対する支援として市観光協会に対し補助を行った。	翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	観光イベント等に係る観光協会との打ち合わせ回数	回	目標値	3	4	5	6	7
			実績値	3	6	6		
	市内外の観光イベント参加回数	回	目標値	3	3	4	4	5
			実績値	5	7	8		
	観光ブック等の配布総数	冊(年)	目標値	6,000	6,000	7,000	8,000	9,000
			実績値	13,200	12,000	15,000		
HPやSNS等を活用した情報発信	回	目標値	80	85	90	95	100	
		実績値	92	89	108			
観光モデルコース等の作成	コース(延べ)	目標値	—	1	2	3	3	
		実績値	—	1	2			
成果指標	観光入込客数	人	目標値	1,060,000	1,070,000	1,080,000	1,090,000	1,100,000
			実績値	1,110,073	1,200,184	829,105		
	HPやSNS等の閲覧回数	回	目標値	57,000	58,000	59,000	60,000	61,000
			実績値	155,973	200,125	92,142		
	観光資源の発掘及び再整備	箇所(延べ)	目標値	—	1	1	2	2
			実績値	—	1	2		
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き市観光協会や地域と連携し、観光資源を活用した誘客、交流人口の増を図っていく。